

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

昭和十九年六月十日

食料不足を繞る流言蜚語の概要

国立公文書館	
分類	③ ④
排架番号	3 A
	15
	7-9-12

昭二九六 一〇

内務省警保司經濟保安課

食糧不足を繞る流言蜚語の概要

一 概 況

深刻なる食糧逼迫事情を反映して食糧を繞る流言蜚語は漸次擴大し全国的に流布せらるゝに至り内容的に見ても食糧取締を中心として警察と憲兵との間に對立相尅あるが如き印象を與ふる悪質流言並に警察取締が如何にも苛察にして血も涙もない冷酷一徹のものであるかの如き流言が極めて廣範圍に流布せられ食糧を繞る流言の主流を爲してゐるが前者に付ては流言内容の如き事實の發生なく故らに警察と憲兵とを對立せしめるに至つた明確な原因を發見し難い。警察官の取締を内容とする流言は米穀その他食料品を繞る警察取締に對する反感として表現せらるゝものに外ならず、警察官の行爲を臆測して取締を索制せんとする意圖が洩露せらる。即ち駐在巡查が水車小屋に米を盗みに入り發見せられて殺死した。警察官が被取調人の米を持歸り自家用に供した。警察官が取締を繰り子供を刺し殺した。等の蜚語を以つて警察を誹謗し又は警察官も亦同様不法行爲を敢行してゐると訴へて取締を諷刺し取締の緩和方を術策し違反行爲を正當視せんとするが如きものがこの部に屬する、又食糧不足に伴ふ

国立公文書館	分類	配架番号
	①	3 A
	②	15
		7-9-12

7-9-12



家庭不和悲劇等を流布して一般の同情を求め或は開取引の正當化を暗示せんとするものも不
 動、一般國民の食糧窮迫に伴ひ違法精神の弛緩頹廢の傾向が看取せられる。
 又一般國民の食糧逼迫と對照しつゝ、軍の所爲を羨望するものが散見せらるゝに至つたことは
 戦時下特に警戒を要する處と認められる處であり、その他開値の横行に關するもの或は供出
 米に關するもの等各種の事象に亘り造言流布せられてゐるが本年三月以降に於ける報告件數
 は

種 目 別	報告件數	措 置 状 況		
		科 料	留 置	送 局
警民離間に關するもの	二七	八	一	一三
警憲離間に關するもの	一〇	三		一
家庭不和悲劇等に關するもの	五	二		
軍の所爲に關するもの	四	二		一
開値に關するもの	一五	一		一
供出に關するもの	四			二
其他	一五	二		三
合 計	八〇	一八	一	二一

右表の通りで其の内容を種目別に示せば概ね左記の通りである。

二、流言蜚語の内容

(一) 警民離間に關するもの

イ、親が隣家の飯を盗み自分の子供に食はせた事が發覺し警察で非道く虐めて歸宅させた
 ので親はこゝせ米の不足で苦しむなら一層の専子供を殺した方が宜いと其の子供を殺し
 た。(青 森、岡 山)

ロ、リックサククに米其他食糧品を入れて背負ひ歩くものが多いので警察官が鋏で刺し
 乍ら調べたら米でなく子供を刺し殺した。(青 森)

ハ、此前大湊で女が六、七升の米を背負つて歩いて居たので警察に連れて行き調べた處警
 察官の妻であつた。(青 森)

ニ、列車の棚から落ちた荷物を巡查がこれは何んだと足で踏んだので荷主は鼻奮し荷物を
 開いて見せたら中から金鳩鷄と白米三升出たので巡查は其儘黙つてしまつた。

(青 森、福 島)

ホ、應召家族の妻が何處からか米を持つて來た處を警察に頼り一晚泊められて歸宅したら
 子供二人は死んで居た。(青 森)

へ、最近警察は買出部隊の品物を没収して自家用にしてゐる。(警視廳)

ト、親子三人連れで埼玉縣へ芋の買出に行き警察官に叱られたので三人共川に飛び込んだ之を見た警察官も川に飛び込み四人共死んでしまった。(警視廳)

チ、米が足りなくて死んだ赤ん坊の箱が警察に送り届けられた。(警視廳)

リ、自動車の中で巡査が一緋に米を持って乗った女の持物をそれは何んだと云つた處女はお前さんの持つてゐるものと同じだと云つたら何んでもなかつた。(福島、岡山)

ヌ、精米水車に泥濘が入つたので村のものが戸を締めて翌朝開けて見たら駐在巡査が絶死してゐた。(福島、岡山、三重、大分)

ル、巡査の内儀が米一升五合盗み亭主は外分が悪いとて子供二人を殺して自殺した。

二 憲兵警察離間に關するもの (福島)

イ、停車場で田舎の婆さんが白米を背負つて居る處を警察に調べられた、其處に憲兵が來て「少し許りだから許してやれ」と云ひ其の末口論となつた。(青森、大分)

ロ、憲兵隊へ警察署長外警員三名呼ばれ辨當を調べられた處白米だつたので憲兵隊で叱られた。(青森、岡山)

ハ、警察官が老婆の所持品を検査した處米と餅と出た警官は老婆を叱り付け餅を全部取上げて仕舞つたそれを憲兵が見て警察官を殴り憲兵隊に連行した。(青森、福島、三重、大分)

ニ、風呂敷包を持つた人を巡査が調べたら憲兵で俺を調べるなり署長の家を調べるから案内しろと云ひ署長の家を探し白米一俵を發見した。(福島)

三 家庭悲劇等に關するもの

イ、瀧野川で食物不足から一家六名心中した家がある。(警視廳)

ロ、弟が兄の分の飯を喰つて仕舞つたので兄が弟を殴り殺し懲いて自分も自殺した。(警視廳、静岡)

ハ、お内儀さんが配給中の米を盗み警察に行く事になつたので子供を二人殺して自殺した。(警視廳、福島)

ニ、十四、五才の子供が芋の買出に行つて凍死した。(警視廳)

四 軍の所爲に關するもの

イ、海軍航空隊では飯米に制限なく幾等でも喰はせ餘つた飯の處分に困り土に埋めてゐる
ロ、今年の米は八月迄しかない見込で食糧警備では海軍に交棒したら七月頃迄には喰も

決定する、食ふ事はその後にしろと云はれたから八月には戦争が終る。(岡山)

ハ、海軍工廠に働く馬車挽が餌料不足で休んだら幾等高い闇値で買つてもよいからと云はれ、一俵八十圓で買つたが巡査に取調べられても何んでもなかつた。(三 蕨)

ニ、一般の者は困つて居るが軍の偉い方は食糧に不足して居らぬ(警 視 廳)

三、闇値に關するもの

イ、最近東京では白米一升五圓一六圓で取引されて居るをよふだ、又煙草の空箱に米を詰めて出せば直ぐ煙草を賣つて呉れる。(千 葉)

ロ、神戸地方は米一升五圓小豆一升五圓餅一箇二十錢で大阪では米一升十圓鶏一羽三十圓である。(岡 山)

ハ、東京では米一俵八十圓かを千圓京都では鶏一羽六十圓で闇取引されて居る。(長 崎)

四、供出に關するもの

イ、或る後家さんは米を出さねばならないので氣が在り娘が来た時食はすものがないので腹いりで遂に鐵道自殺をした。(青 森)

ロ、私等の村長が無理に供米せしめた爲に農民は村長の家に火を放つて云つてゐる。(三 重)

ハ、役場が供出米を出せ出せと無理を云ふて米を出させたので腹を立て、役場の入口で殺した。(岡 山)

四、其の他

イ、朝鮮人が産婆を頼みに行き途中で之を殺し其の肉を宿屋に賣つた處おかしい肉だと警察に届けたので人間の肉である事が判つた。(岡 山)

ロ、東京都の深川では米が無い爲に櫻の蕾を全部取つて喰つてしまった。(千 葉)

ハ、東條首相は警視廳で犯罪の中經濟違反が一番多い事を聞かれ「それで戦争に勝てる」と云はれたをよふだ(岡 山)